

芽かき講習会資料（2019）

2019年5月

1. 生育状況

	南部	北部	備考
巨峰 発芽	4/27～	4/29～	平年4/28頃、昨年4/20頃
巨峰 展葉	5/2～	5/4～	平年5/1頃、昨年4/23頃
シャインマスカット発芽	5/2～	5/3～	平年5/1頃、昨年4/25頃
シャインマスカット展葉予想	5/7～	5/8～	平年5/8頃、昨年4/29頃

2. 芽かき

- ◇ 芽かきはその年の着果量を決める上で一番はじめに実施する管理。
- ◇ 樹の状態（生育状況、枯れ込み、凍害、樹勢、施肥の有無）を確認する
- ◇ 芽かきは貯蔵養分の分配を効率よくさせるため、展葉3～4枚頃までには実施推奨

《長梢の芽かきについて》

芽かき時期（数回にわけて実施する・生育の様子を確認しながら）

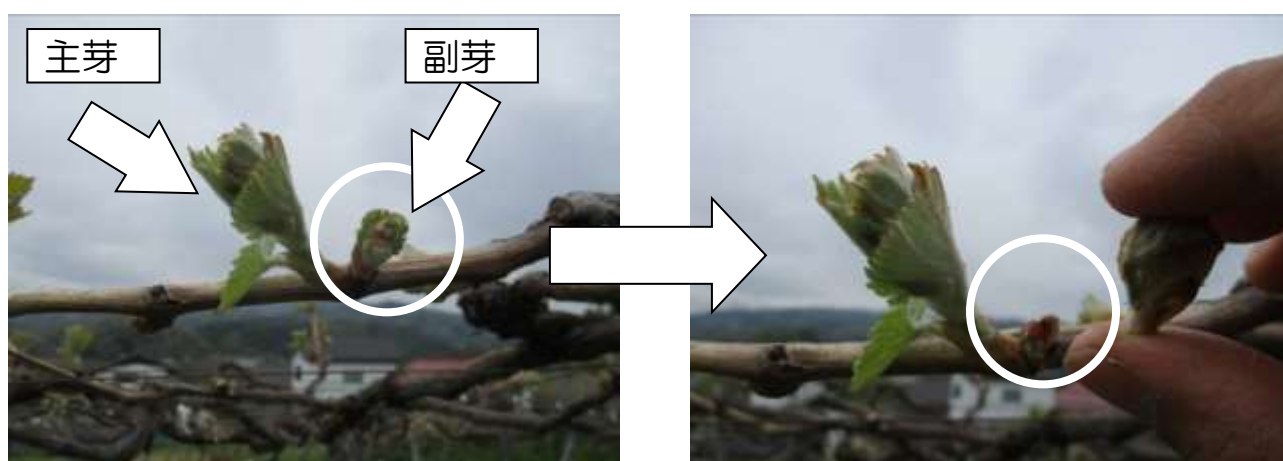
- ① 展葉期初期（展葉してすぐ。副芽や先端の生育差のある芽をかく）
- ② 展葉3～4枚ごろ（極端に弱い芽、芽の数が多いところ・混み合う箇所を整理）
- ③ まだ整理したりない・混雑している場合は随時行う。（夏場の新梢管理）

芽かき方法（生育の度合い・枝の長さ等を揃える事を意識する）

- ① 副芽・結果母枝の分岐部・極端に強い芽をかく（生長を揃える）展葉期以降実施
- ② 主枝延長枝の先端は強い芽（生育の早い芽）を残す（引っ張り枝：養分を引き込ませる）
- ③ 先端部と基部に大きく生育の差があれば先端部の芽をかき、生育をそろえる

《長梢・種なしぶどうの芽かきについて》

上記と同様。開花時期やジベレリン処理作業時期などを揃えるため、強めの枝が揃うように芽かきを実施する。



- ・副芽を取って主芽を残す。枝（結果母枝）の芽の生育（大きさ等）をなるべく揃える。

《短梢せん定の新梢管理（芽かき・捻枝・誘引）について》

芽かき時期

- ・展葉3～4枚頃（5月10日頃～、遅霜の心配がなくなった後）
- ・誘引が終わった後（枝折れが心配な方推奨、誘引できたら他の芽は欠く）

芽かき方法

- ① 副芽の芽かき。ハサミで切除を推奨。（手でかくと主芽が根元から折れる恐れ有。）
- ② 芽座から複数発芽している場合はなるべく基部に戻すように芽かきを実施
- ③ 花穂のある枝を残す（形の良い花を選んで残せるように）



（注意！！）

手で芽かきを行うと、残した新梢が折れやすくなる恐れがあるため、ハサミを使って副芽を切除した方が良い。

写真では誘引しやすい方を残した

短梢仕立て芽かき事例集

Q1) 芽座の間隔が広い場合

- ・1つの芽座から新梢を2つ程度発生させて空間を埋める（混みすぎ注意！）
- ・主枝の反対側の芽座から立ち枝を誘引して空間を埋める。

Q2) 2芽せん定で芽座先端に強い新梢が発生し、芽座基部の新梢が弱かった場合

- ・先端の新梢に房をつけ、基部の新梢は葉枚数確保・次年度種枝として空枝にする。

Q3) 芽座が長く伸び、主枝から離れている場合（参考写真あり）

- ・先端の強い枝に成らせ、基部に近い位置で発生したものを空枝とする（次年度利用）
- ・基部に適度な枝が発生していれば、先端を除去して基部の枝で房を成らしてよい。

Q4) 2～3芽連続して禿げあがってしまった場合（芽座・枝の枯れこみ）

- ・隣の芽座から禿げあがってしまった芽座の方向に伸びる枝を残して芽を確保する。
- ・隣の芽座の新梢を1つ多く発生させ、禿げてしまった部分を埋める。

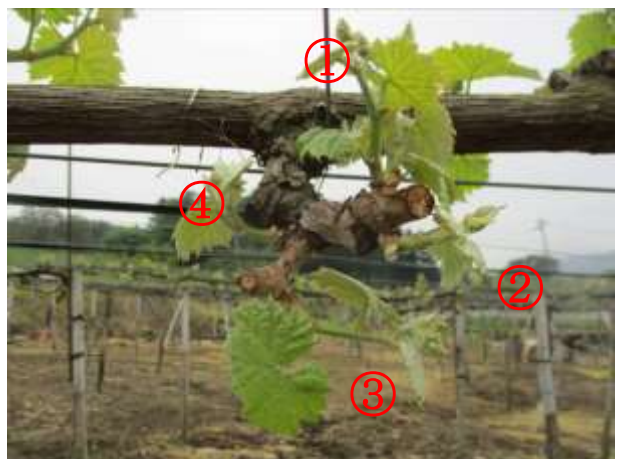
Q5) 主枝延長枝の選び方

- ・樹勢が強いと主枝延長枝の先端の芽が強く発生しやすい（扁平形、親指の太さ）
- 先端が極端に強く出ている場合はあえて芽かきをせず、先端から2～3番目の中庸な枝（直径10～15cm、人差し指の太さ）を次年度の延長枝として利用する。

短梢仕立て芽かき例(写真付き)

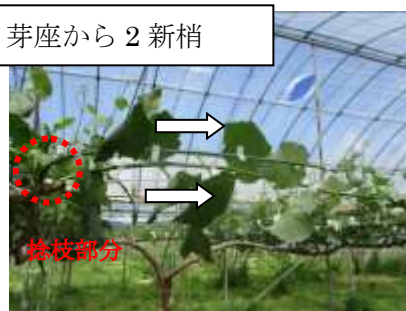


- ① 2019 年度に房を成らせる枝。副芽を切除。
- ② 予備として残した。①が欠けてしまった場合の予備。副芽利用。
- ③ 発生位置が悪かったため切除（芽座の下側）。
- ④ 先端の新梢①と競合しそうのため切除。場合により①でなく④を利用でもよい。
- ⑤ 芽座の基部から発生し、次年度切り戻しが望めそうのため残す（葉枚数確保）



写真：シャインマスカット

- ① 房をつける新梢。副芽を欠く。
- ② 予備として残しても良い。
- ③ 発生位置が悪いため芽かき。
- ④ 空枝として残しても良い。
（葉枚数確保・次年度利用）



新梢の誘引・捻枝の様子(パープル)※1 芽座から 2 新梢

3. 防除 「0（ゼロ）のつく日はぶどう防除の日（10日間隔の散布）」

散布時期	日付(予想)	使用農薬	倍率	主要対象病害虫
展葉 2～3 枚頃 シャインマスカット黒とう病	南部：5/10 頃 北部：5/11 頃	オリ-ワ(フ) ダイゾ(水)	2000 倍 1000 倍	黒とう病・晩腐病 うどんこ病・灰色かび病 (カスミカメ類)
巨峰・展葉 6 枚頃	5/12 頃～	オ-サド(水)	800 倍	晩腐病・べと病・黒とう病 灰色かび病・褐斑病
巨峰・展葉 9 枚頃	5/22 頃～	ド-ヤス(フ)	2000 倍	晩腐病・べと病・黒とう病
巨峰・開花 3 日前	6/2 頃～	フル-ツバ- オ-サド(水) ス°ラド(水)	1500 倍 800 倍 1500 倍	晩腐病・べと病 灰色かび病・スリップス類

《コウモリガ対策》

ガットサイド S（1.5 倍、21 日前まで、2 回）5 月上旬から塗布

薬剤散布の際は幹にもタツプリ散布する（主幹害虫対策等）

《カイガラムシ類・クビアカスカシバ対策》

スタークル顆粒水溶剤(アルバリン顆粒水溶剤)（2 倍、幼果期まで、塗布は 1 回）

水：薬剤＝1：1 で混ぜ、主幹部の 50cm 程度の幅で 1 周ハケを用いて塗布する。
ハケをたてて泡立てるように塗布すると、薬液が流れにくくなる。

目安量：1 樹当たり 20～40 g

カイガラムシ類を防除する場合は、4 月中旬～下旬に塗布

クビアカスカシバを防除する場合は、5 月上旬～中旬に塗布

4. その他

☆ ストマイ液剤 20

散布時期 満開 14 日前～満開始期（5 月下旬頃）

散布濃度 1,000 倍

注意事項 有核栽培の園地がある場合はドリフトに十分注意する。
散布時期の遅れに注意し、果房に十分かかるように散布する。

◎種なしぶどうについては必ずストマイ液剤を散布する

☆ フラスター液剤

散布時期 展葉 9～11 枚（6 月上旬頃）

散布濃度・量 フラスター 3 本／10a あたり（使用量の目安）

SS 散布 1,000 倍 300 ㍺/手散布 500 倍 150 ㍺

※散布例 種なし巨峰：SS で散布の場合 1,000 倍/300 ㍺（10a）

手散布の場合 500～800 倍/150 ㍺（10a）

シャインマスカット：1,000 倍～2,000 倍/300 ㍺（10a）

◎品種により、フラスターの散布倍率が違うので注意する

☆ 接ぎ木について

時期：展葉 2～3 枚頃 ～ 6 月末頃 ※推奨

注意事項

・長果 G11「クイール-ヅ 1」の増殖(接ぎ木・挿し木など)には申請書・報告書の提出が必須となります。詳しくは園芸課ぶどう担当にお問い合わせください。

有核巨峰の結実確保に向けての管理

開花期の低温、降雨、強樹勢樹等の理由により、親子の発生が心配されます。
結実させるために以下の点に注意して下さい。

1. フラスター液剤の散布について（適樹勢への誘導。強樹勢に注意）

使用目的	適樹勢への誘導
使用時期	展葉9～11枚頃（6月上旬頃）
散布量	フラスター3本／10aあたり 例）SS散布1000倍300ℓ、手散布500倍150ℓ

注意事項

- ・朝や夕方の涼しい時間帯に散布する。
- ・散布後、気温が高めに推移するとフラスター液剤の効き目が短くなる。
- ・枝の引き下ろし（邪魔でも切らない）せん定時に引き下ろした枝は満開以降切除

2. 結実確保のための葉面散布資材

目的	薬剤	効果	使用倍率
結実確保	マルポロン ヨーヒ B5	ホウ素補給による 花粉管の伸長向上	800～1,000 倍
良品質化	グリーンデイズ	苦土、ホウ素、マンガン補 給、葉の健全化等	1,000 倍
苦土補給	ビックマグ	苦土補給＝葉の健全化	1,000 倍
結実確保（強樹勢）	ビーブロッサ	ホウ素補給、リン酸補給に よる樹勢抑制と結実確保	1,000 倍
花粉増量	花果神	アミノ酸による花粉増量	10,000 倍
樹を落ちつかせる	メリット赤	リン酸による 窒素吸収抑制	300～400 倍
	スイカル	カルシウムで生育抑制	500～700 倍

上記葉面散布剤は状況を見ながら開花期までに3回程度散布する（定期防除混用可）

例年の傾向として・・・

貯蔵養分の不足

- ・早期落葉、成らせすぎ等で樹に負担がかかると花芽の充実不足・結実不安定となることがある。
- 花房を観察し花房の充実が悪ければ、ショルダー除去・花房整理をしましょう（養分を効率的に使用）

気象条件

- ・巨峰は高温を好み、低温は嫌う⇒花房に光を当てる、園地外周をビニールで覆う。
- ・開花期に過度の乾燥がある場合、少量かん水を実施する。
（ただし、開花期の過度のかん水は結実不良となりやすいので注意する）